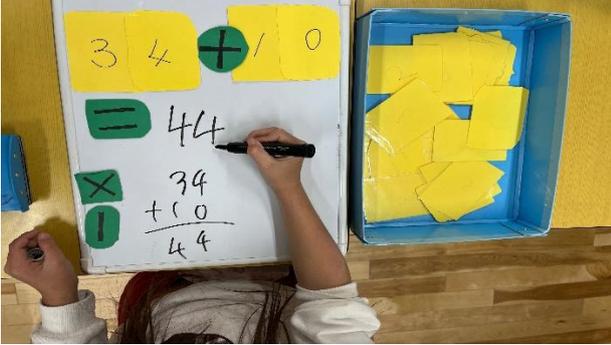


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>計算練習ボックス</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立豊浦小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>算数・自立活動・生活単元学習</p>	<p>【制作者名】</p> <p>浅野 聖人</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>箱からランダムに数字を取り、楽しみながら加減や乗法の計算問題を作り、計算練習をする。</p>	<p>【使用方法】</p> <p>数字が書かれたカードを箱の中にランダムに置き、箱から数字が書かれたカードを取る。計算問題をホワイトボードに作り、問題を解く。ホワイトボードに直接答えを書く。</p>
<p>【制作上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネットで取り外しができるようにした。 ・画用紙にラミネート加工することで、複数回使用しても破れないようにする。 ・加法、減法、乗法と様々な計算練習に対応できるようにした。 	<p>【見取り図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色画用紙に数字を書きラミネート加工をする。 ・均等の大きさに切る。 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍している2、3、4年生は計算問題を不得意としている。ゲーム感覚で取り組めるこの教具は、様々な数字の計算練習に慣れることができると考える。 ・児童の手元で実際に動かすため、主体的に活動できる。 ・児童間同士で問題を出し合うことで、対話的な活動ができる。
<p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色画用紙 ・ラミネート加工 ・ホワイトボード 	